

《学校の教育目標》 確かな学力と豊かな心を高め、たくましく生きる子供の育成
 〈本年度 学校の重点目標〉「みんなでつくる 幸せな学校」と考え、生活をつくる子どもの育成

学習内容を深く理解し、資質・能力を身に付け、学んだことを自らの生き方に活かそうとする。
【つくる力】

仲間を大切にできる優しさや仲間と共に同じ目的に向かって心を合わせてことにあたろうとする。
【つなぐ力】

目標に対して情熱を持ってひたむきに取り組み、挫折や困難を味わっても諦めずに努力し続けようとする。
【つらぬく力】

学びをつなぐ授業

- ①学力向上プラン「視点2」に記載
- ②主眼とまとめの一致、めあてとまとめの対応、内容の焦点化を図り、ユニバーサルデザインの視点(シンプル、ビジュアル、シェア)による授業を展開する。(国語・算数、毎時間)
【成果指標】「授業の内容がよく分かる」と回答する児童の割合が85%以上
- ③教育ICTを活用した教材提示、情報収集、写真や動画等による記録を行っていく。(毎日3回以上)
- ④英語専科やALTによる専門的授業を実施し、ペアで自分の思いや考えを外国語やジェスチャーなどでのコミュニケーション能力を育む活動を行う。(外国語 毎時間)

笑顔の先生

- ①学力向上プラン「視点4」に記載
- ②会議の目的と内容が人数や時間と適切かを見直していく。(学期1回)
 クロームブックを活用した終礼を進め、話し合いの時間を短縮する。(毎回)
【成果指標】「先生はよさを認めてくれる」と答える児童の割合が90%以上

協働する学校・家庭・地域

- ①地域学校協議会プラン「提言①」参照
- ②地域学校協議会プラン「提言②」参照
- ③学力向上プラン「視点4」に記載

楽しい学校

- ①「くるめアクションプラン」を基盤とし、生徒指導サポーター・養護教諭と連携し、遅刻等の児童への、初期対応を行う(毎日)。また、行政とも連携し要支援会議や校内支援委員会での情報共有を行う。(月1回)。「学校生活アンケート」(毎月)、「いじめアンケート」および教育相談(学期に1回)での、いじめの早期発見・早期対応に努める。**【成果指標】不登校児童の出現率が3%以下、いじめの解消率が90%以上**
- ②火災・地震・水害の避難訓練を行うとともに、不審者対応についても考えていき、どうすれば自分の命を自分で守ることができるのか考え危機管理意識を児童、教師ともに育てる。(学期1回)
- ③学級の話合い活動で決めたこと(係活動や集会活動等)において一人一人が自分の役割を担う場を設定する。(学期1回以上)

【体力向上】

- ①体育の時間のはじめに、瞬発力と跳躍力を高めるための5分間サーキットトレーニングを行う。(毎時間)
- ②2023チャレンジ(「1校1取組」運動)
 みんなでなわとび、ドッジボールラリー等
 ・体力アップシート活用率:目標75%
 ・スポコン広場登録学級数:目標15学級

【あいさつ・そうじ・自学自習】

- ①自ら気持ちのよいあいさつができる子どもをさらに増やしていく。(教師自らのあいさつの率先垂範)
- ②清掃の意義を児童と教師が共通理解をし、清掃活動の振り返りの中でがんばりを認め合う。(毎週)
- ③「家庭学習の手引き」をもとに10分間×学年+10分を徹底する。(学期に1回、中学校の期末考査の時期)

基盤として大切にすること(本年度の重点)

- 【人権・同和教育】「人権・同和教育の視点に立った指導のポイント」を活用して、人権が尊重される「学習活動づくり」「人間関係づくり」「環境づくり」を行う。 [要綱 P111~参照]
- 【特別支援教育】「困難さのある児童生徒に対する支援の充実のために」を活用し、同学年や特支コーディネーターによる協働的な支援を行う。 [要綱 P137~参照]
- 【キャリア教育】キャリアパスポートを活用して自己の伸びを認め合う。 [要綱 P170~参照]